

● いろはがるた 一

次の文はいろはがるたです。意味を後ろから選んで記号で書きましよう。

- ② □ も歩けば棒に当たる (エ)
- ② 一を聞いて十を知る (カ)
- ③ 論より証拠 (オ)
- ④ 花より団子 (ク)
- ⑤ 憎まれっ子世にはばかる (ア)
- ⑥ 二階から目薬 (コ)
- ⑦ 骨折り損のくたびれ儲け (イ)
- ⑧ 仏の顔も三度 (ケ)
- ⑨ 下手の長談義 (ウ)
- ⑩ 年寄りの冷や水 (キ)

ア 人に憎まれるような人間が却って世間でははばをきかす。
イ 労力を費やしたのに効果がなく、疲れだけが残ること。
ウ 話下手の者にかぎって話が長くなり、はた迷惑なこと。
エ 物事を行うものは、時に禍にある、また、やってみると思わぬ幸いにあうことのととえ。
オ 物事は議論よりも証拠によって明らかにする。

カ 聡明で、一部分を聞いて他の万事を理解することという。
キ 老人に不似合いな危ういことをするたとえ。老人が差し出たふるまいをすることという。
ク 風流を解さないこと。名よりも実利を尊ぶこと。

ケ いかに温和で慈悲深い人でも、たびたび無法を加えられれば、しまいには怒り出す。
コ 二階にいる人が階下の人に目薬をさすように、思うように届かないこと。効果のおぼつかないこと、迂遠なことのたとえ

(広辞苑より引用)

言葉の学習

常伸スクール